

## 第6章

# 年次報告

一般のマンションのワンフロアをホームに。利用者はワンルームタイプの個室で生活（グループホームはっぶ、平成25年）



定員5人のグループホーム。共用スペースのリビングで食事（支援センターしらさぎ、平成24年）



# 平成5(1993)年度

● 会員数 ●  
施設会員 111 施設  
特別会員 4 名

## ○研修関係等

- 大阪愛護創立30周年記念式典・精神薄弱者福祉推進研修大会：平成5年10月7日  
記念講演「これからの施設福祉について」 講師：脇田豊氏（白川学園理事長・園長）  
参加者数：133名
- 大阪府社会福祉協議会の社会福祉施設職員研修の障がい児者関係研修企画に参加

## ○スポーツ・レクリエーション等

- スポーツフェスタ'93大阪（第12回精神薄弱者スポーツ大阪大会）：平成5年10月23日～24日  
大阪市長居第2陸上競技場 他5会場  
参加者数：2,403名
- 第2回全国精神薄弱者スポーツ大会（ゆうあいピック）：平成5年10月16日～17日  
参加者数：3,500名（内大阪 選手55名 役員30名）

## ○表彰関係

- 全国精神薄弱者事業功労者表彰 6施設10名

## ○後援事業等

- 第34回大阪手をつなぐ親の会大会
- 第34回手をつなぐ親と子の成人式・お正月大会
- NHK福祉フォーラム
- 心身障害者の自立と社会参加を考えるつどい

### 近畿地区知的障害者施設協会（\*現名称）関連

- 第16回近畿精神薄弱者施設長会議：平成5年11月10日～11日  
テーマ「総合的福祉における施設の在り方を求めて」  
大阪愛護協会関係発題者2名
- 第30回近畿地区精神薄弱者施設職員研修会：平成6年2月8日～9日  
テーマ「望ましい施設の在り方をめざして」  
大阪愛護協会関係発題者3名

### 日本知的障害者福祉協会（\*現名称）関連

- 全国精神薄弱者関係施設長会議：平成5年5月11日～12日
- 第31回全国精神薄弱施設職員研究大会：平成5年9月28日～30日

## 法制度 ・ 世相

「障害者対策に関する新長期計画」（平成5（1993）～14（2002）年度）開始  
「心身障害者対策基本法」を改称し、「障害者基本法」制定（障がい者の自立とあらゆる社会参加の促進）  
「アジア太平洋障害者の十年」（平成5（1993）～14（2002）年）のスタート

# 平成6(1994)年度

●会員数●  
施設会員 114 施設  
特別会員 4 名

## ○研修関係等

- 精神薄弱者福祉推進研修大会：平成6年11月15日  
基調講演「福祉処遇の基本理念」 講師：石井哲夫氏（日本社会事業大学大学院教授）  
パネルディスカッション「いわゆる処遇困難と専門性」  
参加者数：大阪愛護協会会員 113 名 その他 6 名 計 119 名
- 大阪府社会福祉協議会の社会福祉施設職員研修の障がい児者関係研修企画に参加

## ○スポーツ・レクリエーション等

- スポーツフェスタ'94 大阪：平成6年10月22日～23日  
大阪市長居第2陸上競技場 他5会場 参加者数：2,606名
- 第3回全国精神薄弱者スポーツ大会群馬県大会（ゆうあいピック）：平成6年10月15～16日  
大阪府 選手 58 名 役員 38 名参加 大阪市 選手 37 名 役員 21 名参加  
全体参加者数：3,691 名（選手団）

## ○表彰関係

- 釘宮賞表彰 4 施設 4 名
- 全国精神薄弱者事業功労者表彰 11 施設 107 名

## ○阪神・淡路大震災支援活動

- 大阪愛護協会の会長施設（熊取療育園）に支援活動の本部を置き被災施設（三田谷学園、一羊園）に集中的に職員派遣・三田谷学園園児全員の緊急受け入れ（平成7年2月11日～3月28日）
- 被害施設等に対する義援金募集

## ○後援事業等

- 第35回大阪手をつなぐ親の会大会
- 第35回手をつなぐ親と子の成人式・お正月大会
- 第10回職業と社会参加に関するセミナー大阪大会
- NHK 福祉フォーラム 主題「知的障害者の自立と社会参加を考えるつどい」

## 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第17回近畿精神薄弱関係施設長会議：平成6年11月10日～11日  
テーマ「変革の時代・施設再構築への提言～頑張れ施設長～」 大阪愛護協会関係発題者 4 名
- 第31回近畿地区精神薄弱施設職員研修会：平成7年2月8日～9日  
テーマ「21世紀を目指した施設のあり方」 大阪愛護協会関係発題者 3 名

## 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国精神薄弱者関係施設長会議：平成6年5月16日～17日
- 第32回全国施設職員研究大会：平成6年9月13日～15日

## 法制度 ・ 世相

「高齢者、身体障害者が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律」（ハートビル法）制定

「21世紀福祉ビジョン」の提言（21世紀の少子・高齢社会における社会保障、主要施策の基本的方向、財源構造について提言）

\* 阪神・淡路大震災

# 平成7(1995)年度

● 会員数 ●  
施設会員 122 施設  
特別会員 4 名

## ○研修関係等

- 精神薄弱者福祉推進研修大会：平成8年1月19日  
講演「新しい時代の福祉施設職員像」 講師：岡田喜篤氏（国立秩父学園園長）  
参加者数：大阪愛護協会関係 178 名
- 大阪社会福祉研修センター「障害児者施設課程」研修

## ○スポーツ・レクリエーション等

- スポーツフェスタ'95 大阪：平成7年10月21日～22日  
大阪市長居第2陸上競技場 他5会場  
参加者数：2,644 名

## ○表彰関係

- 釘宮賞表彰 3施設 4名

## ○『すこやかハンドブック』作成事業

知的障がい者が地域で安定した生活を送っていくために、その障がいの特性に配慮しながら、健康を維持したり、健康の自己管理をすすめたりする上で活用していただける本人向けの健康ハンドブック（すこやかハンドブック）を大阪府福祉部（障害福祉課）と協力し、社会福祉・医療事業団からの助成事業を受け編集、作成

## ○後援事業等

- NHK 福祉フォーラム
- 第36回大阪手をつなぐ親の会大会
- 第36回手をつなぐ親と子の成人式・お正月大会
- 知的障害者の自立と社会参加を考えるつどい
- 第6回春をよぶみんなのコンサート

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第18回近畿精神薄弱関係施設長会議：平成7年11月9日～10日  
基調講演「21世紀の施設福祉」 講師：岡田喜篤氏（国立秩父学園園長）  
大阪愛護協会関係発題者 9 名

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国精神薄弱者関係施設長会議：平成7年5月30日～31日
- 第33回全国施設職員研究大会 大阪愛護協会関係発題者 2 名

## 法制度 ・ 世相

「精神保健法」を改称し、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」（精神保健福祉法）制定  
「障害者プラン～ノーマライゼーション7か年戦略～」(平成8(1996)～14(2002)年度) 策定

# 平成 8 (1996) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 128 施設  
特別会員 5 名

## ○研修関係等

- 精神薄弱者福祉推進研修大会：平成 8 年 12 月 5 日  
講演「大震災が残したもの」 講師：金守良氏（神戸朝日病院長）  
映画観賞「エンジェルが飛んだ日」 参加者数：126 名
- 大阪社会福祉研修センター「障害児者施設課程」研修

## ○スポーツ・レクリエーション等

- 集まれグループホーム：平成 8 年 8 月 25 日
- 第 30 回ソフトボール大会：平成 8 年 9 月 5 日  
久宝寺緑地陸上競技場 参加者数：34 チーム 622 名
- 第 5 回ゆうあいピック北海道大会：平成 8 年 9 月 20 日～23 日  
参加者数：大阪府選手団 選手 59 名 役員 35 名 大阪市選手団 選手 37 名 役員 24 名
- 第 15 回スポーツフェスタ '96 大阪：平成 8 年 10 月 19 日～20 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場 他 6 会場 参加者数：2,721 名

## ○表彰関係

- 釘宮賞表彰 4 施設 4 名
- 精神薄弱者福祉事業功労者表彰 9 施設 31 名

## ○後援事業等

- NHK 福祉フォーラム
- 1996 年度近畿ブロック精神薄弱者相談員養成・研修会
- 第 37 回大阪手をつなぐ親の会大会
- りんくうタウンまちびらきイベント「巨大壁画による夢の迷宮」
- 第 37 回手をつなぐ親と子の成人式・お正月大会
- 第 7 回春をよぶみんなのコンサート

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第 19 回近畿精神薄弱関係施設長会議：平成 8 年 10 月 31 日～11 月 1 日  
記念講演「障害者プランについて」 講師：本橋紘氏（前厚生省児童家庭局障害福祉課長）  
分科会共通テーマ「21 世紀を見据えて今すべきこと」 大阪愛護協会関係発題者 3 名
- 第 33 回近畿地区精神薄弱施設職員研修会：平成 9 年 2 月 6 日～7 日  
講演「生きものとしての人間」 講師：中村桂子氏（生命誌研究館副館長）  
大阪愛護協会関係発題者 12 名

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国精神薄弱関係施設長会議：平成 8 年 5 月 30 日～31 日
- 第 34 回全国施設職員研究大会：平成 8 年 9 月 11 日～13 日 大阪愛護協会関係発題者 1 名

# 平成9(1997)年度

● 会員数 ●  
施設会員 132 施設  
特別会員 5 名

○総会 平成9年5月26日

## ○研修関係等

- ・「アメリカ、カナダの権利擁護システムについて」：平成9年5月26日  
講師：北野誠一氏（桃山学院大学社会学部教授）
- ・「今後の社会福祉法人経営のあり方」：平成9年8月26日  
講師：高岡國士氏（全国社会福祉施設経営者協議会総務委員長）
- ・福祉推進研修大会：平成10年1月30日  
講演「こころのケアとボランティア活動」  
講師：中田武仁氏（国連ボランティア名誉大使）  
参加者数：139名
- ・大阪社会福祉研修センター「障害児者施設課程」研修

## ○スポーツ・レクリエーション等

- ・第31回ソフトボール大会：平成9年6月3日  
久宝寺緑地陸上競技場 参加者数：37チーム 704名
- ・第6回ゆうあいピック愛知・名古屋大会：平成9年10月18日～19日  
名古屋市瑞穂公園陸上競技場 他  
参加者数：大阪府選手団 選手55名 役員31名  
大阪市選手団 選手38名 役員23名
- ・第16回スポーツフェスタ'97大阪：平成9年11月8日～9日  
大阪市長居第2陸上競技場 他6会場 参加者数：2,872名
- ・集まれグループホーム：平成9年6月1日  
参加者：入居者、世話人、その他バックアップ施設職員が多数参加

## ○表彰関係

- ・釘宮賞表彰 4施設 4名
- ・福祉事業功労者表彰 6施設 23名

## ○後援事業等

- ・NHK福祉フォーラム
- ・第38回大阪手をつなぐ親の会大会
- ・第8回春をよぶみんなのコンサート

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- ・第20回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成9年11月13日～14日  
講演「知的障害児・者の暮しから権利擁護を考える～施設でのこと、地域でのこと～」  
講師：川島志保氏（弁護士、日本愛護編集委員）  
対談「知的障害児・者のおこす事件、うける事件から」  
講師：大石剛一郎氏（弁護士）、小迫弘義氏（かいぜ寮長）

講演「成年後見法～その必要性和課題～」

講師：高村浩氏（弁護士）

- 第34回近畿地区施設職員研修会：平成10年2月3日～4日

講演「寄生虫とヒトとの共生～きれい好きの功罪検証～」

講師：藤田紘一郎氏（東京医科歯科大学医学部教授）

大阪愛護協会関係発題者9名

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国施設長会議：平成9年5月15日～16日

- 第35回全国知的障害関係施設職員研究大会：平成9年10月1日～3日

大阪愛護協会関係発題者2名

法制度  
・  
世相

「介護保険法」制定 平成12（2000）年施行



## みなさんからの応援メッセージ

### 施設福祉の課題に応える 拠点としての協会を期待

元大阪知的障害者福祉協会役員  
白井 舒久

平成初期、「愛護協会」から「福祉協会」への転換期に協会副会長（兼務：通園部会長）として、大阪府から委託を受け、「地域療育方策の構築」の研究や全国三通園の「発達支援センター」の検討に関わり、20年後の児童福祉法改正に伴う「児童発達支援センター」に結実しました。継続的努力の蓄積が制度を変えます。貴協会はそれを支える拠点であり続けて欲しいと願っています。

### 回顧「大阪愛護協会」

情緒障害児短期治療施設あゆみの丘 施設長  
白土 隆司

協会のお役を頂戴したのは昭和63年4月、四半世紀も前のことです。役割は編集委員長で機関紙の発行でした。題字を横文字「AIGO」に替え、デザインを一新した憶えがあります。

平成4年5月には研修委員長に。協会の一義的使命である研修の企画・実施は責任の重さを感じると同時に、やり甲斐のある仕事でした。研修の体系化や講座制、単位認定制を企てましたが果たせず舞いに終わることとなり、今もなお忸怩たる思いでいます。



# 平成 10 (1998) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 137 施設  
特別会員 6 名

○総会 平成 10 年 5 月 22 日 大阪精神薄弱者愛護協会から大阪知的障害者愛護協会に名称変更

## ○研修関係等

- ・ 講演「社会福祉構造改革分科会の審議経過」と「今後の障害保健福祉施策の在り方」：  
平成 10 年 5 月 22 日  
講師：吉村鞆生氏（大阪自彊館理事長）
- ・ 講演「社会福祉基礎構造改革について（中間まとめ）～日本知的障害者愛護協会の見解等～」：  
平成 10 年 8 月 31 日  
講師：岩崎正子氏（日本知的障害者愛護協会副会長、桃花塾施設長）
- ・ 福祉推進研修大会：平成 11 年 1 月 29 日  
講演「音楽は心のかけはし」 講師：新井敦子氏（奈良市音声館館長） 参加者数：155 名
- ・ 大阪社会福祉研修センター「障害児者施設課程」研修

## ○スポーツ・レクリエーション等

- ・ 第 7 回ゆうあいびっく茨城大会：平成 10 年 10 月 17 日～18 日  
茨城県立笠松運動公園陸上競技場 他 3 会場
- ・ 第 17 回スポーツフェスタ '98 大阪：平成 10 年 10 月 31 日～11 月 1 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場 他 5 会場
- ・ 集まれグループホーム：平成 10 年 11 月 29 日  
参加者数：利用者 146 名 世話人 42 名 バックアップ施設職員 23 名  
桃山学院大学教職員・学生・社会人 147 名 合計 358 名

## ○表彰関係

- ・ 釘宮賞表彰 3 施設 3 名
- ・ 福祉事業功労者表彰 5 施設 16 名

## ○後援事業等

- ・ NHK 障害者福祉フォーラム
- ・ 第 37 回近畿知的障害者福祉大会
- ・ 手をつなぐ親と子の成人式・お正月大会
- ・ 第 9 回春をよぶみんなのコンサート

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- ・ 第 21 回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成 10 年 11 月 26 日～27 日  
テーマ「社会福祉構造改革の中、知的障害児・者福祉の展望」  
講演「今、社会福祉法人に求められるもの」  
講師：吉村鞆生氏（全国社会福祉施設経営者協議会会長、社会福祉法人大阪自彊館理事長）  
講演「21 世紀に向けて障害者施設の在り方」  
講師：播磨靖夫氏（財団法人たんばぼの家理事長、社会福祉法人わたぼうしの会理事長）  
講演「成年後見制度の今後！」



講師：田村満子氏（高齢者施設ディレクター、大阪後見支援センター専門相談員）

講演「障害福祉・21世紀への転換と継承」

講師：近藤弘子氏（社会福祉法人侑愛会おしまコロニー総合施設長）

- 第 35 回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成 11 年 2 月 9 日～10 日  
テーマ「検証！利用者の自己決定の尊重」 大阪愛護協会関係発題者 3 名

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国施設長会議：平成 10 年 5 月 14 日～15 日
- 第 36 回全国知的障害関係施設職員研究大会：平成 10 年 9 月 30 日～10 月 2 日  
テーマ「施設は今… ～問われる私たちの意識～」  
記念講演「ノーマライゼーションの原理と自己決定」 講師：ベンクト・ニイリエ  
大阪愛護協会関係発題者 1 名 大阪府関係参加申込 33 施設 77 名

## 法制度 ・ 世相

「精神薄弱の用語整理のため関係法律の一部を改正する法律」制定

「精神薄弱者福祉法」を改称し、「知的障害者福祉法」制定

「社会福祉基礎構造改革について（中間まとめ）」中央社会福祉審議会社会福祉構造改革分科会



## みなさんからの応援メッセージ

### 隔世の感

大阪後見支援センター センター長 山上 時津子

昭和 40 年代後半から 50 年代初め頃、「施設内学級に行けるから」との入所ケースから次第に激しい行動障害のある方の入所ケースが増え、日夜危機管理に追われるようになり疲弊感を募らせていました。その頃手がかりを求めて読んだ『愛護』の実践研究、先輩の「皆来たくて来てるんやない、本当は家で家族と暮らしたいんや」という話しに、ああそうやったと心底納得したことを思い出します。

今日、国際生活機能分類、ノーマライゼーションの理念が浸透し、本人主体の創意工夫の実践が広がり大きなうねりになってきたことに隔世の感を覚えます。牽引役としての知的障害者福祉協会のますますのご活躍を祈念しております。

### 思い出

社会福祉法人光徳寺善隣館 中津学園長

佐伯 篤子

協会発足 1 年目に計画された「第 1 回施設職員研修旅行」に参加した。10 名の施設職員は初対面の人ばかり、行き先は中京方面で 3 施設を見学した。

なかでも岐阜県の陶技学園では、タイルで考案された壁面や窯場、瀬戸物製品等の地場産業を取り入れた施設に感動したのを憶えている。犬山城からライン下りを観光し、楽しい研修旅行でもあった。

これが協会と私との関わりの第一歩である。あれから 50 年、協会を通じて多くの人とのつながりが懐かしく思い出される。

# 平成 11 (1999) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 138 施設  
賛助会員 6 名

○総会 平成 11 年 5 月 21 日

## ○研修関係等

- ・「豊かな旅の支援方法について」：平成 11 年 5 月 21 日  
講師：近畿日本ツーリスト・名鉄観光担当社員
- ・研修会：平成 11 年 8 月 20 日  
「グループホーム・生活支援センター等について」 講師：本多隆司氏(大阪府障害福祉課地域生活係長)  
「これからの障害者福祉（施設）の在り方について～介護保険制度の考えとの関連で～」  
講師：宮田広善氏（全国肢体不自由児連絡協議会副会長、姫路市総合福祉通園センター所長）
- ・「新しい成年後見制度と大阪後見支援センターの活動について」：平成 12 年 1 月 21 日  
講師：北村和茂氏（大阪後見支援センター企画事業課長）
- ・福祉推進研修大会：平成 12 年 1 月 21 日  
講師：濱上征士氏（龍谷大学短期大学部教授） 参加者数：112 名
- ・大阪社会福祉研修センター「障害児者施設課程」研修

## ○スポーツ・レクリエーション等

- ・第 33 回大阪知的障害児・者合同ソフトボール大会：平成 11 年 6 月 4 日  
久宝寺緑地陸上競技場 参加者数：27 施設・3 養護学校、44 チーム 982 名
- ・第 8 回ゆうあいびっく島根大会：平成 11 年 10 月 2 日～3 日  
大阪府参加者数：選手 53 名 役員 29 名
- ・第 18 回スポーツフェスタ '99 大阪：平成 11 年 10 月 23 日～10 月 24 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場 他 6 会場 参加者数：3,170 名
- ・第 4 回集まれグループホーム：平成 11 年 11 月 14 日  
大阪府立障害者交流促進センター（ファインプラザ大阪）  
参加者数：利用者 147 名 世話人 20 名 バックアップ施設職員 21 名 ボランティア 36 名

## ○表彰関係

- ・釘宮賞表彰 3 施設 3 名
- ・福祉事業功労者表彰 5 施設 16 名

○大阪愛護ニュースの発行 102 号～105 号

## ○後援事業等

- ・NHK 福祉フォーラム
- ・第 40 回大阪手をつなぐ親の会大会
- ・第 3 回国際社会福祉・文化交流事業「心と心のふれあいコンサート」
- ・サバス・C・マパラーズ氏来日講演（日本 PIC 研究会）
- ・第 2 回金剛コロニー療育セミナー
- ・第 4 回ジェントル・ティーチング公開ワークショップ
- ・全国知的障害養護学校 PTA 連合会研修会
- ・第 1 回シドニー国際交流講演会オペラハウス

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第22回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成11年11月18日～19日  
講演「足あととは田園のこやし」 講師：小林信一氏（元御坊小学校長）  
講演「社会福祉基礎構造改革について（中間まとめ）の要点」  
講師：大塚保信氏（梅花女子大学文学部人間福祉学科長）
- 第36回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成12年2月9日～10日  
テーマ「支えあい、共に喜び合える暮らしを求めて！」 大阪愛護協会関係発題者2名

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国施設長会議：平成10年5月14日～15日
- 第37回全国知的障害関係施設職員研究大会：平成11年9月8日～10日  
テーマ「21世紀への挑戦～問われる施設のあり方～」  
特別講演「ノーマライゼーションの原理と自己決定」  
講師：堀田力氏（さわやか福祉財団理事長、社会福祉基礎構造改革分科会委員）  
記念講演「社会福祉基礎構造改革について」  
講師：京極高宣氏（日本社会事業大学学長、中央社会福祉審議会委員）

## 法制度 ・ 世相

「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」（地方分権一括法）制定 平成12（2000）年施行



## みなさんからの応援メッセージ

### これからの協会に望むこと

大阪府立砂川厚生福祉センター 所長  
傳野 護

この50年の障がい者福祉において、福祉協会と施設・事業所が果たしてきた役割は大変大きなものがあったと思います。

今、「施設から地域へ」という障がい者福祉の流れの中で、施設・事業所が積み上げてきた利用者支援のスキルやノウハウ等を活かし、地域の社会資源として如何にその機能を発揮するのか。福祉協会のリーダーシップのもと施設・事業所、関係機関等との一層の情報交換、連携を深め取組みを図っていただきたいと思います。

# 平成 12 (2000) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 142 施設  
賛助会員 6 名

○総会 平成 12 年 5 月 23 日 大阪知的障害者愛護協会から大阪知的障害者福祉協会に名称変更  
12 年度総会において会則改正により協会名の名称変更並びに組織改革が行なわれ、新しい時代に即した部会・分科会・委員会活動が開始。

## ○研修関係等

- ・「障害者・児施設のサービス評価基準について」：平成 12 年 5 月 23 日  
講師：蓬萊和裕氏（兵庫県・知的障害者施設「希望の家」施設長）
- ・「措置制度から契約利用者への移行に伴う課題とその対応について」：平成 12 年 8 月 25 日  
講師：新田正尚氏（特別養護老人ホーム白寿園施設長）
- ・「障害者緊急雇用プロジェクトの現状と今後について」：平成 13 年 1 月 19 日  
講師：板垣一彦氏（大阪障害者緊急雇用支援センター所長）
- ・福祉推進研修大会：平成 13 年 1 月 19 日  
「今後の施設の方向性を考える」  
「支援費支給方式への移行と介護・自立支援の実態分析」  
講師：磯彰格氏（南山城学園理事長）
- ・大阪社会福祉研修センター「障害児者施設課程」研修

## ○スポーツ・レクリエーション等

- ・第 34 回大阪知的障害児・者合同ソフトボール大会：平成 12 年 6 月 1 日  
久宝寺緑地陸上競技場  
参加者数：施設 35 チーム 養護学校 3 チーム 計 747 名
- ・第 9 回ゆうあいびっく岐阜大会：平成 12 年 10 月 21 日～ 22 日  
岐阜長良川競技場 他 9 会場  
参加者数：選手 51 名（大阪福祉協会 18 名） 役員 29 名（大阪福祉協会 10 名）
- ・第 19 回スポーツフェスタ 2000 大阪：平成 12 年 10 月 28 日～ 29 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場 他 5 会場  
参加者数：3,071 名 ボランティア 826 名
- ・第 5 回集まれグループホーム：平成 12 年 11 月 19 日  
参加者数：利用者 207 名 世話人 48 名 バックアップ施設職員 23 名 ボランティア 76 名  
スタッフ 36 名 来賓その他 36 名

## ○表彰関係

- ・厚生大臣表彰 2 施設 2 名
- ・大阪府知事表彰 2 施設 2 名

## ○福祉協会ニュースの発行 106 号～ 107 号

## ○後援事業等

- ・第 38 回大阪府身体障害者スポーツ大会兼第 36 回全国選考会身体障害者スポーツ大会選考会
- ・日本ミュージックケア協会第 4 回全国セミナー
- ・人事担当者等のための実務セミナー
- ・第 41 回大阪手をつなぐ親の会大会

- 第4回国際社会福祉・文化交流事業「心と心のふれあいコンサート」
- 日蘭友好周年記念参加事業「21世紀の生き方を探る～オランダに学び、日本に学ぶ～」
- 全国障害者生活支援研究会第2・第6研究委員会合同公開セミナー
- 金剛コロニー 30周年講演会
- NHK厚生事業団周年記念国際シンポジウム「スウェーデンの仲間たちを迎えて」
- 第3回金剛コロニー療育セミナー
- 大阪手をつなぐ親の会新成人を祝う新年の集い
- 第11回春をよぶみんなのコンサート
- 第5回ジェントルティーチング公開ワークショップ

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第23回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成12年11月9日～10日  
特別講演「福祉サービス新時代」  
テーマ「措置から利用契約及び障害者への福祉サービスとケアマネジメント」  
講師：小室豊允氏（姫路獨協大学学長）  
分科会テーマ「総合課題新時代への施設経営上の課題と戦略」
- 第37回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成13年2月8日～9日  
テーマ「21世紀：福祉施設のめざすものとは」  
特別講演「人として～福祉にかかわる人に～」  
講師：今井美沙子氏（作家）  
大阪福祉協会関係発題者3名

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国知的障害関係施設長会議：平成12年5月11日～12日  
シンポジウム「基礎構造改革と今後の課題」
- 第38回全国知的障害関係施設職員研究大会：平成12年9月27日～29日  
テーマ「21世紀！ともに生きる～これからの施設、そのめざすもの～」  
特別講演「脳の形成とその機能」  
講師：大野耕策氏（鳥取大学医学部生命科学科教授）  
シンポジウム「新しい制度における利用者の権利と施設の役割」  
記念講演 演題「元気と笑い」  
講師：宮川花子氏  
大阪福祉協会関係シンポジスト1名

## 法制度 ・ 世相

- 「社会福祉事業法」を改称し、「社会福祉法」制定
- 「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」（交通バリアフリー法）制定
- 「児童虐待の防止等に関する法律」（児童虐待防止法）制定

# 平成 13 (2001) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 153 施設  
賛助会員 5 名

○総会 平成 13 年 4 月 27 日

## ○研修関係等

- 「平成 13 年度大阪府における障害者施策について」：平成 13 年 4 月 27 日  
講師：片山幸治氏（大阪府健康福祉部障害保健福祉室在宅課計画推進グループ）
- 「聖域なき構造改革と社会福祉の行方」：平成 13 年 8 月 24 日  
講師：高岡國土氏（全国社会福祉施設経営者協議会会長）
- 「部会、委員会活動報告」：平成 14 年 1 月 18 日
- グループホーム運営ハンドブックに関する研修会：平成 14 年 3 月 19 日  
「グループホーム運営ハンドブックの作成にあたって」  
「グループホームの暮らしを支援する」  
「アンケート調査結果から見えてくるもの」
- 大阪社会福祉研修センター「障害児者施設課程」研修

## ○スポーツ・レクリエーション等

- 第 35 回大阪知的障害児・者合同ソフトボール大会：平成 13 年 6 月 7 日  
久宝寺緑地陸上競技場 参加者数：35 施設・3 養護学校、38 チーム 750 名
- 第 1 回全国障害者スポーツ大会 宮城県：平成 13 年 10 月 27 日～29 日  
参加者数：大阪府選手団 80 名（知的障害児者 42 名） 役員 45 名  
大阪市選手団 57 名（知的障害児者 21 名） 役員 25 名
- 第 20 回スポーツフェスタ 2001 大阪：平成 13 年 10 月 23 日～24 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場 他 6 会場 参加者数：2,937 名 ボランティア 923 名
- 第 6 回集まれグループホーム：平成 14 年 3 月 17 日  
参加者数：利用者 115 名 世話人 19 名 バックアップ施設職員 21 名 ボランティア 55 名  
スタッフ 16 名

## ○表彰関係

- 厚生大臣表彰 2 施設 2 名
- 大阪府知事表彰 2 施設 2 名

## ○福祉協会ニュースの発行 110 号～113 号

## ○『グループホーム運営ハンドブック』の作成発行

主体：グループホーム運営ハンドブック作成委員会（社会福祉・医療事業団助成事業）  
発行部数：1,500 部

## ○後援事業等

- 第 1 回大阪府障害者スポーツ大会
- 第 42 回大阪手をつなぐ親の会大会
- 第 5 回国際社会福祉・文化交流事業「心と心のふれあいコンサート」
- 第 4 回金剛コロニー療育セミナー
- スペシャルオリンピック日本・大阪チャリティコンサート
- 大阪手をつなぐ親の会新成人を祝う集い
- 全日本知的障害者サッカー選手権第 2 回西日本大会
- 第 12 回春をよぶみんなのコンサート
- 第 6 回ジェントルティーチング公開ワークショップ

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第24回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成13年11月29日～30日（担当大阪福祉協会）  
中央情勢報告：長田信一氏（厚生労働省障害保健福祉部企画課支援費制度施行準備室室長補佐）  
フォーラム「障害者福祉21世紀の挑戦」
- 第38回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成14年2月8日～9日  
テーマ「福祉新時代への施設職員はどう変わるか」  
特別講演「サービス評価と問われる職員の資質」 講師：北野誠一氏（桃山学院大学教授）  
大阪福祉協会関係発題者4名

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国知的障害関係施設長会議：平成13年5月9日～10日  
シンポジウム「地域の暮らしを支える施設の役割」
- 第39回全国知的障害関係施設職員研究大会：平成13年9月25日～27日  
テーマ「新世紀・福祉文化を拓く～契約時代の福祉サービスを考える～」  
基調講演「糸賀一雄の思想と21世紀福祉ビジョン」 講師：京極高宣氏（日本社会事業大学学長）  
シンポジウム「契約時代の福祉サービスを考える」  
記念講演「契約時代の福祉サービス」 古都賢一氏（名古屋大学大学院法学研究科助教授）  
大阪福祉協会関係者シンポジスト・講師2名

### 法制度 ・ 世相

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」（DV防止法）制定  
\*厚生労働省の発足



## みなさんからの応援メッセージ

### 「スポーツフェスタ」を振り返って

社会福祉法人天王福祉会サンライズ 施設長 海藻 茂雄

障がい者の自立と社会参加を目指した「スポーツフェスタ」は、今から32年前に「スペシャルオリンピック」の名称で、第1回大会に1670名が集い長居陸上競技場をメイン会場に開催されました。平成元年からは「精神薄弱者スポーツ大会」として、2000余名が参加しました。平成3年全国大会を実施した際のこと、名称変更を巡って学校・施設・育成会の三者の間で喧々譁々の議論になり、学校と施設があわや分裂の憂き目に？

結局のところ、「スポーツフェスタ」の名称に落ち着き、三者の絆が以前に増して強くなりました。その当時、学校関係の責任者としてとても懐かしく思い出しております。



# 平成 14 (2002) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 164 施設  
賛助会員 5 名

○総会 平成 14 年 5 月 16 日

○臨時施設長会

「支援費シュミレーションによる施設運営について」：平成 14 年 11 月 19 日

○研修関係等

- ・「支援費制度導入に伴う施設への影響について」：平成 14 年 5 月 16 日  
講師：松端克文氏（桃山学院大学講師）
- ・「法人経理の基礎知識～損益計算、原価償却を中心に～」：平成 14 年 8 月 23 日  
講師：島田和信氏（島田共同公認会計士事務所所長）
- ・国際フォーラム '02 おおさか：平成 14 年 11 月 20 日  
「地域にいきいき瑞、英、日 3 か国に見る地域移行」  
基調講演「日本における実践と課題」 講師：田島良昭氏  
講演「スウェーデンにおける実践と課題」 講師：アンデシュ・ベリストローム氏  
講演「イギリスにおける実践と課題」 講師：ルーシー・ジョーンズ氏  
報告「瑞、英、日本の実態と課題」 講師：河東田博氏  
シンポジウム「入所施設から地域の住まいへの移行を考える」
- ・福祉推進研修大会：平成 15 年 1 月 18 日  
「知的障害者施設におけるサービス利用契約について」  
講師：渡邊芳男氏（日本知的障害者福祉協会政策委員、伊豆つくし学園施設長）
- ・大阪府保健福祉室予算説明会：平成 15 年 3 月 19 日
- ・大阪社会福祉研修センター「障害児者施設課程」研修

○スポーツ・レクリエーション等

- ・第 36 回大阪知的障害児・者合同ソフトボール大会：平成 14 年 6 月 6 日  
久宝寺緑地陸上競技場  
参加者数：施設 35 チーム 養護学校 3 チーム 計 750 名
- ・第 21 回スポーツフェスタ 2002 大阪：平成 14 年 10 月 19 日～20 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場 他 5 会場 参加者数：約 3,200 名 ボランティア 923 名
- ・第 2 回全国障害者スポーツ大会 高知県：平成 14 年 11 月 9 日～11 日  
参加者数：大阪府 選手 100 名 大阪市 選手 58 名

○表彰関係

- ・厚生労働大臣表彰 1 名

○福祉協会ニュースの発行 114 号～117 号

○後援事業等

- ・第 2 回大阪府障害者スポーツ大会
- ・第 9 回マインドエアロビクス
- ・大阪養護教育研究 50 周年記念大会
- ・第 43 回大阪手をつなぐ親の会大会
- ・第 41 回近畿知的障害者福祉大会

- 第6回国際社会福祉・文化交流事業「心と心のふれあいコンサート」
- 地域職業自立啓発セミナー
- 大阪手をつなぐ親の会新成人を祝う集い
- 第13回春をよぶみんなのコンサート
- ジョブコーチ研究集会
- 大阪府発達障害者支援センター（アクトおおさか）開設記念講演会

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第25回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成14年10月30日～31日  
テーマ「支援費制度への移行と今後の施設制度・サービス体系のあり方を探る」  
行政説明：郡司巧氏（厚生労働省障害保健福祉部障害福祉課課長）  
シンポジウム「支援費制度への移行と今後の施設制度・サービス体系のあり方を探る」
- 第39回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成14年2月26日～27日（大阪福祉協会担当）  
テーマ「激変する福祉・いま専門職が問われている」  
中央情勢報告：大島謙氏（日本知的障害者福祉協会常任理事）  
大阪福祉協会関係発題者3名
- 第13回授産施設運営研究協議会西日本大会：平成14年11月28日～29日（大阪担当）  
テーマ「支援費制度を目前に控え、授産施設における特色ある施設サービスとは」  
行政説明：寺澤潔司氏（厚生労働省障害保健福祉部障害福祉課予算係長）  
シンポジウム「知的障害者の就労支援を考える」

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国知的障害関係施設長会議：平成14年6月12日～13日  
シンポジウム「支援費支給制度と知的障害関係施設のあり方」
- 第40回全国知的障害関係施設職員研究大会：平成13年9月25日～27日  
テーマ「人・文化・未来～古都で語ろう明日の福祉を～」  
特別講演「40年を振り返って」 講師：江草安彦氏  
基調講演「障害者福祉の未来をともに考える」 講師：古都賢一氏  
基調講演「利用・契約の時代における施設の役割を考える」 講師：宮田広善氏  
ジョイントフォーラム「共に考えよう豊かな暮らし」  
記念講演「人・文化・未来（ゆめ）」  
講師：山田洋次氏（映画監督）  
大阪福祉協会関係者シンポジスト等5名

## 法制度 ・ 世相

「障害者基本計画（新障害者基本計画）」（平成15（2003）～24（2012）年度）策定  
「前期重点政策実施5か年計画（新障害者プラン）」（平成15（2003）～19（2007）年度）策定

# 平成 15 (2003) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 170 施設  
賛助会員 4 名

- 総会 平成 15 年 5 月 16 日
- 臨時総会 平成 16 年 1 月 16 日
- 大阪知的障害者福祉協会設立 40 周年記念式典及び講演会 平成 16 年 2 月 19 日  
記念講演「長野県西駒郷における脱施設～施設から地域への取り組み～」  
講師：山田優氏（長野県立長野県西駒郷自律支援部長）
- 研修関係等
  - ・「脳の発達の仕事について（発達障害を含む）」：平成 15 年 5 月 16 日  
講師：小野次朗氏（和歌山大学教育学部教授）
  - ・「シングル事件の概要と今後の取り組みについて」：平成 15 年 8 月 29 日  
講師：副島忠義氏（信楽通勤寮寮長）
  - ・「社会福祉施設における消費税について」平成 16 年 2 月 19 日  
講師：栗谷和明氏（TKC 全国会大阪府リーダー）
  - ・グループホームを考える大阪のつどい：平成 15 年 11 月 3 日  
テーマ「ひろげよう、よくしよう、まちの中に」  
記念講演「グループホームの過去、現在、未来」  
講師：浅野史郎氏（宮城県知事）  
体験報告：グループホーム利用者による報告
- スポーツ・レクリエーション等
  - ・第 37 回大阪知的障害児・者合同ソフトボール大会：平成 15 年 6 月 5 日  
久宝寺緑地陸上競技場  
参加者数：施設 31 チーム 養護学校 3 チーム 計 642 名
  - ・第 22 回スポーツフェスタ 2003 大阪：平成 15 年 10 月 18 日～19 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場 他 5 会場  
参加者数：約 3,200 名 ボランティア 798 名
- 表彰関係
  - ・勲五等瑞宝章 1 名
  - ・厚生労働大臣表彰 2 名
  - ・大阪府知事表彰 1 名
- 福祉協会ニュースの発行 118 号～121 号
- 後援事業等
  - ・第 3 回大阪府障害者スポーツ大会
  - ・全国障害者生活支援研究会大阪セミナー
  - ・第 44 回大阪手をつなぐ親の会大会
  - ・第 7 回国際社会福祉・文化交流事業「心と心のふれあいコンサート」
  - ・大阪手をつなぐ親の会新成人を祝う集い
  - ・自閉症の人の職業生活支援研修会
  - ・第 14 回春をよぶみんなのコンサート

## 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第19回全国通所更生施設職員研究大会：平成15年11月20～21日  
テーマ「支援費制度下における日中活動支援施設の課題と展望」  
行政説明：山口和彦氏（厚生労働省障害保健福祉部障害福祉課専門官）  
基調講演「支援費制度下における日中活動支援施設の課題と展望」  
講師：三田優子氏（花園大学社会福祉学部講師）  
全体会：施設利用者による意見発表
- 第26回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成15年9月25日～26日  
テーマ「支援費制度への移行と利用者の権利擁護のあり方を考える」  
基調講演「精神科医としての私の原点」 講師：木田孝太郎氏（湖南病院院長）  
シンポジウム「支援費制度と権利擁護」  
大阪福祉協会関係発題者2名
- 第40回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成16年2月16日～17日  
テーマ「どうつくる、これからの知的障害のある人たちの福祉」  
中央情勢報告：大島譲氏（日本知的障害者福祉協会常務理事）  
講演「知的障害者施設体系のあり方」 講師：柴田洋弥氏（日本知的障害者福祉協会政策委員会委員長）  
シンポジウム「どうつくるこれからの知的障害のある人たちの福祉」
- 第1回発達支援運営研究協議会全国大会：平成15年11月30日～31日  
テーマ「乳幼児から青年期に至るまでの発達支援を考える」  
記念講演「脳から見た発達」 講師：養老孟司氏（東京大学名誉教授）  
行政説明：大塚晃氏（厚生労働省障害保健福祉部障害福祉課専門官）  
シンポジウム「Ⅰ発達を支援する Ⅱ支援費移行を考える」
- 第1回近畿地区グループホーム研修会：平成16年2月27日  
講演「グループホームの課題と今後の方向性」 講師：高濱潔氏（日本知的障害者福祉協会地域支援部会）  
講演「入居者の権利と自立支援」 講師：三田優子氏（花園大学社会福祉学部講師）

## 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国知的障害関係施設長会議：平成15年6月11日～12日  
行政説明：高原弘海氏（厚生労働省障害保健福祉部障害福祉課長）  
講演「地方分権とこれからの福祉」 講師：浅野史郎氏（宮城県知事）  
講演「新障害者プランと利用契約制度」 講師：大泉博子氏（川崎医療福祉大学教授）
- 第41回全国知的障害関係施設職員研究大会：平成15年9月3日～5日  
テーマ「福祉新時代の幕開けを検証する」  
行政説明：高原弘海氏（厚生労働省障害保健福祉部障害福祉課長）  
基調講演「福祉新時代の幕開けを検証する」 講師：岡田喜篤氏（川崎医療福祉大学学長）  
ビッグフォーラム「地域主導型の福祉を考える」「変革の時代をどう歩むか」  
記念講演「野球とは人生そのもの」 講師：長嶋茂雄氏（読売巨人軍終身名誉監督、全日本野球チーム監督）

## 法制度 ・ 世相

「措置制度」から「支援費制度」へ移行  
「少子化対策基本法」制定

# 平成 16 (2004) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 176 施設  
賛助会員 5 名

○総会 平成 16 年 5 月 21 日

○第 1 回障害者生活支援フォーラム・大阪 平成 16 年 12 月 25 日

シンポジウム「知的障害者の消費生活トラブルの実態と支援について」

コーディネーター：名川勝氏（筑波大学大学院講師人間総合科学研究所心理障害学系）

シンポジスト：佐藤彰一氏（法政大学大学院法務研究教授、弁護士）

堀江まゆみ氏（白梅学園短期大学教授、日本グループホーム学会事務局長）

遠藤清一氏（JCF A 金銭管理カウンセリング事業団事務局長）

パネルディスカッション「消費生活トラブルの解決方法と支援のためのネットワーク構築について」

コーディネーター：坪倉浩治（大阪知的障害者福祉協会生活支援分科会座長）

パネリスト：川並利治氏（あいあいねっと大阪後見支援センター部長） 他 6 名

○研修関係等

- ・「自閉症の理解と支援～バリアフリーの社会を目指して～」：平成 16 年 5 月 21 日

講師：新澤伸子氏（大阪府発達障害者支援センター（アクトおおさか）センター長）

- ・「ダブルハンディのある人の生活支援を考える～西宮市・青葉園の取り組みをとおして～」：

平成 16 年 8 月 20 日

講師：清水明彦氏（西宮市社会福祉協議会「青葉園」担当課長補佐兼「のまネット西宮」障害者生活相談・支援センター長）

- ・全体研修会「スウェーデンにおける脱施設化後の地域生活支援の仕組みと内容～日本的な地域生活支援の方向を探る～」：平成 16 年 10 月 27 日

講師：松端克文氏（桃山学院大学社会学部助教授）

- ・勉強会「この国の障害者福祉施設はどこに行くのか～見直しが進むそのあり方や役割・そして施設体系～」：平成 16 年 6 月 24 日

講師：西山和幸氏（大阪府社会福祉協議会セルフ部会部会長、わかくさ南障害者作業所施設長）

○スポーツ・レクリエーション等

- ・第 38 回大阪知的障害児・者合同ソフトボール大会：平成 16 年 6 月 3 日

久宝寺緑地陸上競技場

参加者数：30 チーム（利用者・生徒 449 名 職員・支援者 31 名）

- ・第 23 回スポーツフェスタ 2004 大阪：平成 16 年 10 月 30 日～31 日

大阪市長居第 2 陸上競技場 他 5 会場

参加者数：約 3,000 名 ボランティア 400 名

○大阪知的障害者福祉協会広報誌『大阪知的障害者福祉協会 NEWS』の発行 122 号～123 号

○新潟県中越地震災害による被害施設等に対する義援金募集

- ・義援金額：1,196,500 円 協力者数：64 施設等

○後援事業等

- ・第 45 回大阪手をつなぐ育成会大会

- ・第 2 回日本園芸療法研究大会・大阪

- ・第 8 回国際社会福祉・文化交流事業「心と心のふれあいコンサート」

- 第15回春をよぶみんなのコンサート
- 大阪手をつなぐ育成会新成人を祝う集い

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 施設長研修会：平成16年6月19日  
講演「知的障害者（児）施設体系のあり方について」  
講師：岡田喜篤氏（川崎医療福祉大学学長）
- 近畿地区役員会：平成16年7月16日
- 臨時施設長会：平成16年10月26日  
講演「今後の障害者保健福祉施策について（改革グランドデザイン案）」  
講師：大島謙氏（日本知的障害者福祉協会常任理事）
- 近畿地区グループホーム研修会：平成17年1月22日  
基調講演「中央情勢報告」  
講師：高濱潔氏（日本知的障害者福祉協会地域支援部会福祉ホーム・グループホーム等分科会副座長）  
講演 講師：福岡寿氏（北信圏域障害者生活支援センター所長）
- 臨時施設長会：平成17年1月31日  
講演「今後の障害福祉施策（改革グランドデザイン案）についてと今後の変化の対応策について」  
講師：大島謙氏（日本知的障害者福祉協会常任理事）
- 第41回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成17年2月14日～2月15日  
テーマ「知的障害を持つ人たちが地域で生活するために～福祉現場ができること～」

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 緊急集会：平成16年11月10日
- 全国地方会長会議：平成17年2月10日  
「障害者自立支援給付法及び法令・省令について」等
- 全国部会・分科会協議会：平成17年2月28日～3月1日  
行政説明：伊原和人氏（厚生労働省大臣官房総務課企画官）  
基調報告：柴田洋弥氏（日本知的障害者福祉協会政策委員長）  
シンポジウム「障害者自立支援給付法をめぐる」  
シンポジスト：齊藤公生氏（全国社会就労センター協議会会長）、  
徳川輝尚氏（全国身体障害者施設協議会会長）、立岡暁氏（きょうされん理事長）、  
小坂孫次氏（日本知的障害者福祉協会会長）  
コーディネーター：小林繁市氏（日本知的障害者福祉協会副会長）

## 法制度 ・ 世相

- 「発達障害者支援法」制定
- 「障害者基本法」改正（都道府県および市町村の障害者計画策定の義務化等）
- 「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」制定

# 平成 17 (2005) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 181 施設  
賛助会員 5 名

○総会 平成 17 年 5 月 20 日

## ○研修関係等

- 研修会：平成 17 年 5 月 20 日  
「大阪府における平成 17 年度障害福祉施策の概要について」  
岩城由幸氏（大阪府健康福祉部障害保健福祉室施設課主査）  
「直近の障害保健福祉施策の動向について」大久保常明氏（日本知的障害者福祉協会事務局長）
- 「障害者自立支援法と知的障害福祉サービスの展開について」：平成 17 年 8 月 26 日  
柴田洋弥氏（日本知的障害者福祉協会政策委員長、東京都・あすなる作業所施設長）
- 「障害者自立支援法における知的障害福祉サービスについて」：平成 17 年 12 月 2 日  
大久保常明氏（日本知的障害者福祉協会事務局長）
- 「障害者自立支援法施行における直近情報について」：平成 18 年 1 月 23 日  
大久保常明氏（日本知的障害者福祉協会事務局長）

## ○スポーツ・レクリエーション等

- 第 24 回スポーツフェスタ 2005 大阪：平成 17 年 10 月 22 日～23 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場 他 5 会場 参加者数：3,004 名 ボランティア 742 名

## ○オーストラリア・ビクトリア州研修ツアー（主催：大阪知的障害者福祉協会）

平成 18 年 2 月 4 日～2 月 12 日 参加者：22 名

目的：オーストラリア・ビクトリア州における触法行為のある知的障がい児・者に対する支援システム・サービス、トリートメントについての理解と関連施設の視察研修

## ○共催事業

- 「障害者自立支援法を考える大阪のつどい」：平成 17 年 4 月 14 日  
意見表明：大阪知的障害者福祉協会会長
- 「障害者自立支援法を考える大阪のつどい」パートⅡ：平成 17 年 7 月 31 日  
意見表明：大阪知的障害者福祉協会日中活動部会長
- 「障害者自立支援法を考える大阪のつどい」パートⅢと御堂筋パレード：平成 17 年 10 月 18 日
- 「障害者自立支援法を考える大阪のつどい」パートⅣとパレード：平成 18 年 3 月 21 日
- シンポジウム「自立支援法で私たちの暮らしはどうか変わるのか？」
- 意見表明：知的障害児施設分科会座長（知的障がい児施設の課題について）

## ○大阪知的障害者福祉協会広報誌『大阪知的障害者福祉協会 NEWS』の発行 124 号～126 号

## ○後援事業等

- 第 12 回マインドエアロビクス
- 第 46 回大阪手をつなぐ育成会大会
- 第 8 回ジェントルティーチング公開ワークショップ
- 第 9 回国際社会福祉・文化交流事業「心と心のふれあいコンサート」
- 大阪手をつなぐ育成会新成人を祝う集い
- 第 16 回春をよぶみんなのコンサート



## 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第2回近畿地区発達支援部会施設長会：平成17年8月20日  
講演「知的障害児のこれから」 講師：岡田善篤氏（社会保障審議会障害者部会委員、川崎医療福祉大学学長）
- 第3回近畿地区発達支援部会施設長会：平成17年9月3日  
講演「障害者自立支援法をどう読むか」  
講師：大塚晃氏（厚生労働省障害保健福祉部企画課障害福祉専門官）
- 障害児（者）地域療育等支援事業第3回近畿ブロック研修会：平成17年10月12日  
「障害者自立支援法とこれからの生活支援」
- 第28回近畿地区知的障害者関係施設長会議：平成17年11月17日～18日  
講演「障害者自立支援法でどうなった」  
講師：井原和人氏（厚生労働省社会援護局障害保健福祉部障害福祉課企画官）  
講演「障害者自立支援法について」 講師：大島謙氏（日本知的障害者福祉協会常任理事）  
講演「成年後見制度について」  
講師：新出千秋氏（和歌山家庭裁判所訟廷管理官）、飯田昌宏氏（和歌山家庭裁判所書記官）  
講演「新しい障害者福祉の動向と利用者・支援者の相互エンパワメントの展望」  
講師：北野誠一氏（東洋大学ライフデザイン学部教授）
- 第3回近畿地区グループホーム研修会：平成18年2月4日  
テーマ「どうなる未来、どうする私たちの暮らし」  
基調講演「中央情勢報告」 講師：小林繁市氏（日本知的障害者福祉協会地域支援部代表）  
講演「地域生活のススメとグループホーム支援」  
講師：山田優氏（長野県西駒郡地域生活支援センター所長）  
実践報告：本人部会「どうなる私たちへの支援」、世話人部会「どうなる私たちの仕事」、バックアップ施設部会「どうなる支援システム」  
助言者：小林繁市氏（日本知的障害者福祉協会地域支援部代表） 司会：山川宗計氏（ワークスユニオン理事）
- 第42回近畿地区知的障害者関係施設職員研修会：平成18年2月16日～17日  
テーマ「どないすんねん？～見えてきた課題にどう立ち向かうのか？～」

## 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国会長・事務局長会議：平成17年10月20日
- 第5回日本知的障害者福祉協会生活支援部会近畿大会：平成18年1月16日～17日  
講演「新たに求められる入所施設の機能と役割」 講師：厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部  
講演「障害者差別禁止法の概要および動向について」  
講師：池田直樹氏（弁護士、大阪アドボカシー法律事務所）
- 全国部会・分科会協議会：平成18年2月27日～28日  
講演「日本の社会保障と地方分権～障害者福祉について～」  
講師：高橋紘士氏（立教大学コミュニティ福祉学部教授）  
講演「市町村から見た自立支援法～共に暮らせるまちづくり～」  
講師：山口和彦氏（埼玉県東松山市健康福祉部福祉課課長補佐）

### 法制度 ・ 世相

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者自立支援法）」制定  
平成18（2006）年10月施行

\*合計特殊出生率が過去最低の1.26

# 平成 18 (2006) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 184 施設  
賛助会員 7 名

○総会 平成 18 年 6 月 2 日

## ○研修関係等

- ・「障害者自立支援法」と知的障害者福祉サービスの展開について：平成 18 年 6 月 2 日  
講師：大久保常明氏（日本知的障害者福祉協会事務局長）
- ・「知的障害者福祉に求められる対人援助の本質～ソーシャルワークの「価値」と権利擁護の視点～」：  
平成 18 年 8 月 23 日  
講師：岩間伸之氏（大阪市立大学大学院生活科学科・生活科学部助教授）
- ・「今、施設は何をしなければならないのか～障害者自立支援法の本格実施における緊急課題について～」：平成 19 年 1 月 26 日  
講師：三谷嘉明氏（名古屋女子大学教授）
- ・「触法行為のある知的障害者への支援～ビクトリア州における制度と支援～」：平成 19 年 4 月 11 日  
講師：水藤昌彦氏（オーストラリアビクトリア州政府ヒューマンサービス省ケース・マネージャー）

## ○スポーツ・レクリエーション等

- ・第 40 回大阪知的障害児・者合同ソフトボール大会：平成 18 年 6 月 1 日  
久宝寺緑地陸上競技場 参加者数：27 チーム（利用者・生徒 372 名 職員・支援者 147 名）
- ・第 25 回スポーツフェスタ 2006 大阪：平成 18 年 10 月 21 日～22 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場 他 5 会場 参加者数：2,589 名 ボランティア 476 名

## ○共催事業

- ・「障害者自立支援法を考える大阪のつどい」  
パート V：平成 18 年 7 月 4 日、パート VI：平成 18 年 8 月 22 日、パート VII：平成 18 年 9 月 25 日
- ・世話人向け料理教室：平成 19 年 3 月 24 日（毎年土曜開催）

## ○その他活動

- ・第 15 回全国グループホーム研修会：平成 18 年 7 月 28 日～29 日  
テーマ「グループホーム・地域生活支援のあり方を展望する」参加者数：915 名
- ・「障害者自立支援法」施行に伴う課題について大阪府知事・大阪市長・堺市長宛て要望書提出：  
平成 18 年 6 月 23 日
- ・「知的障害の福祉サービスの確保を求める緊急集会」開催に係るカンパ及び署名活動  
カンパ：222,380 円  
署名人数：利用者・家族等 2,182 名 賛同団体 717 名 施設・事業所関係 1,600 名
- ・「障害者自立支援法」の全面実施を前にした大阪府議会・大阪市議会議員（団）との懇談会と府・市  
への要望書提出：平成 18 年 9 月 5 日～9 月 8 日

○大阪知的障害者福祉協会広報誌『大阪知的障害者福祉協会 NEWS』の発行 127 号

## ○後援事業等

- ・第 13 回マインドエアロビクス
- ・第 10 回国際社会福祉・文化交流事業「心と心のふれあいコンサート」
- ・第 45 回近畿知的障害者福祉大会・第 47 回大阪手をつなぐ育成会大会
- ・大阪手をつなぐ育成会新成人を祝う集い
- ・第 11 回ジェントルティーチング公開ワークショップ
- ・知的障害者地域職業自立啓発会議（セミナー）

- 豊里学園和太鼓「鼓粹」コンサート
- 第17回春をよぶみんなのコンサート

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 近畿地区入所授産施設緊急検討会議：平成18年10月18日  
日本知的障害者福祉協会の授産部会代表の三役を囲んで、今後の授産施設のありかたや、制度移行に向けた検討会
- 第29回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成18年11月7日～8日  
主題「瀬戸際に来た事業所の展望と法人経営」  
講演「障害者自立支援法と法人経営」  
講師：財前民男氏（全国社会福祉施設経営者協議会副会長、岡山県社会福祉施設経営者協議会会長）  
シンポジウム「ここが知りたい。新体系移行への課題・障害程度区分認定・審査会の結果を考えて新体系移行を検証する」  
基調報告：谷口泰司氏（近畿福祉大学助教授）  
コーディネーター：谷口泰司氏（近畿福祉大学助教授）  
シンポジスト：最上太一郎氏（熊本県・わらび学園施設長）、河原雄一氏（神奈川県・湘南ゆうき村施設長）、渋谷千鶴氏（京都府・むくの木学園施設長）
- 障害程度区分研修会：平成18年12月13日  
講師：河原雄一氏（神奈川県・湘南ゆうき村施設長、日本知的障害者福祉協会政策委員会障害程度区分検討小委員会委員）
- 近畿地区知的障害者施設協会生活支援部会施設長会議：平成18年12月14日  
テーマ「障害者自立支援法と事業者経営～旧事業体系単価と新事業体系単価の差をどう読むか～」
- 第43回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成19年2月15日～16日  
講演「障害者自立支援法について」 講師：大島謙氏（日本知的障害者福祉協会常任理事）  
講演「障害者自立支援法について」 講師：厚生労働省

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 知的障害者の福祉サービスの確保を求める緊急集会：平成18年6月6日
- 全国部会・分科会協議会：平成19年3月5日～6日  
基調報告「障害程度区分に関する研究から、様々な課題と今後の対応」  
講師：三谷嘉明氏（名古屋女子大学教授）  
シンポジウム「障害程度区分と新体系移行に向けて」  
シンポジスト：小林繁市氏（地域支援部会部会長、北海道・だて地域生活支援センター所長）、樋口幸雄氏（政策委員会委員、京都府・「庵」施設長）、最上太一郎氏（生活支援部会副部会長、熊本県・わらび学園施設長）、田中齋氏（発達支援部会副部会長、千葉県・桐友学園施設長）  
コーディネーター：柴田洋弥氏（政策委員会委員長、東京都・あすなる作業所所長）

### 法制度 ・ 世相

「障害者自立支援法」の円滑な運営のための特別対策（利用者負担の更なる軽減、事業者に対する激変緩和措置、新法移行のための経過措置）

「障害者の権利に関する条約」採択

# 平成 19 (2007) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 193 施設  
賛助会員 8 名

○総会 平成 19 年 5 月 18 日

## ○研修関係等

- ・「地域でごく普通に暮らすために～今何が求められているか、そして現状は！～」：  
平成 19 年 5 月 18 日  
講師：辻川圭乃氏（弁護士、辻川法律事務所）
- ・「利用者が安心して生活できる環境を保障していくために」：平成 19 年 8 月 28 日  
講師：木下貴生氏（社会保険労務士・行政書士）
- ・「高次脳機能障害について」：平成 20 年 1 月 18 日  
講師：納谷敦夫氏（大阪府障害者福祉事業団理事長）

## ○スポーツ・レクリエーション等

- ・第 41 回大阪知的障害児・者合同ソフトボール大会：平成 19 年 6 月 7 日  
久宝寺緑地陸上競技場  
参加者数：27 チーム（利用者・生徒 356 名 職員・支援者 122 名）
- ・大阪府第 25 回スポーツフェスタ 2007 大阪：平成 19 年 10 月 20 日～ 21 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場等で 8 競技開催  
参加者数：2,356 名 ボランティア 612 名

## ○共催事業

- ・「障害者自立支援法を考える大阪のつどい」実行委員会：平成 19 年 10 月 11 日
- ・東京日比谷公園にて 4,000 人規模の「全国大フォーラム」：平成 19 年 10 月 30 日
- ・党派を超えて国会議員をまわりアピール：平成 19 年 10 月 31 日
- ・政策シンポジウム「あらためて問う障害者自立支援の「今」と「これから」」：平成 20 年 1 月 29 日
- ・大阪府議会各会派要請「障害者自立支援法の改善と障害者施設の拡充を求める要請書」：  
平成 20 年 3 月 19 日
- ・世話人向け料理教室：平成 19 年 11 月 17 日

## ○その他活動

- ・障害者医療・リハビリテーションセンター見学会：平成 19 年 4 月 27 日
- ・「障害者自立支援法の抜本的な見直し等に関する請願書」：64 団体（9,619 筆）
- ・「障害者自立支援法に係る要望書」：平成 19 年 7 月 31 日提出（大阪府知事あて）
- ・新潟県中越沖地震災害による被害施設等に対する義援金募集  
義援金額：541,284 円 協力施設数：47 施設

○大阪知的障害者福祉協会広報誌『大阪知的障害者福祉協会 NEWS』の発行 128 号～ 129 号

## ○後援事業等

- ・第 14 回マインドエアロビクス
- ・第 48 回大阪手をつなぐ育成会大会
- ・第 11 回国際社会福祉・文化交流事業「心と心のふれあいコンサート」
- ・サポート研関西セミナー
- ・大阪手をつなぐ育成会新成人を祝う集い

- 第18回春をよぶみんなのコンサート
- 第10回ジェントルティーチング公開ワークショップ

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 日本知的障害者福祉協会会長と、地方会会長・事務局長との懇談会：平成19年6月22日
- 第30回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成19年11月14日～15日  
テーマ「障害者自立支援法下における課題とその対策」  
国の情勢報告：厚生労働省  
「日本知的障害者福祉協会の方針と現活動状況について」  
講師：大島謙氏（日本知的障害者福祉協会常任理事）  
基調講演「安定した地域生活を目指して」  
講師：白澤政和氏（大阪市立大学大学院教授）
- 第4回近畿地区グループホーム研修会：平成20年1月26日  
テーマ「豊かさってなに？～自立支援法で得たもの、得るもの～」  
基調講演「中央情勢報告」 講師：室崎富恵氏（島根県・いわみ福祉会）  
講演「町で暮らす支えるシステム作り～実践活動を通して～」  
講師：廣瀬明彦氏（京都府・相楽福祉会）
- 第44回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成20年2月7日～8日  
講演「障害者の権利擁護について」 講師：浅井基文氏（広島市立大学広島平和研究所）  
講演「障害者自立支援法の現状」  
講師：樋口幸雄氏（日本知的障害者福祉協会政策委員、横手通43番地「庵」施設長）

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 障害者自立支援法の抜本的見直しを求める緊急集会：平成19年6月21日
- 全国会長・事務局長会議：平成19年10月25日
- 全国部会・分科会協議会：平成20年3月5日～6日  
国政報告：木村義雄氏（衆議院議員、自由民主党障害者福祉委員長）  
「障害者自立支援法の抜本的見直し」報告書（与党障害者自立支援に関するプロジェクトチーム）の説明  
講師：大島謙氏（日本知的障害者福祉協会常任理事）  
「障害者自立支援法の改正に向けての協会からの提言」  
発表者：小板孫次氏（日本知的障害者福祉協会会長）、三谷嘉明氏（名古屋女子大学教授）

## 法制度 ・ 世相

「障害者自立支援法」の抜本的な見直しに向けた緊急措置（利用者負担の見直し、事業者の経営基盤の強化、グループホーム等の整備促進）  
「後期重点施策実施5か年計画（新障害者プラン）」（平成20（2008）～24（2012）年度）策定

# 平成 20 (2008) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 190 施設  
賛助会員 6 名

## ○総会 平成 20 年 5 月 16 日

「平成 20 年度大阪府健康福祉部本格予算の概要」「地域移行支援センター事業について」

講師：大阪府健康福祉部障がい保健福祉室地域生活支援課長

障害者自立支援法施行後の新体系移行状況把握のためのアンケート調査報告

「障害者自立支援法の抜本的見直しをさらに求める緊急集会」に係る資金カンパと請願書署名についての報告

高井田苑大阪府特別監査実施結果報告：大阪府健康福祉部障がい保健福祉室施設福祉課課長補佐

## ○研修関係等

- ・「リスクマネジメント～利用者が安心して生活していくために～」：平成 20 年 5 月 16 日

講師：坪山孝氏（桃山学院大学教授）

- ・「問題行動への理解と支援①～自閉症を理解するために～」：平成 20 年 8 月 29 日

- ・「問題行動への理解と支援②～行動マネジメント～」：平成 20 年 11 月 5 日

- ・「問題行動への理解と支援③～行動マネジメント～」：平成 20 年 12 月 3 日

- ・「問題行動への理解と支援④～行動マネジメント～」：平成 21 年 1 月 27 日

- ・「問題行動への理解と支援⑤～行動マネジメント～」：平成 21 年 3 月 3 日

以上、講師：中山清司氏（京都発達障害センターかがやき副センター長）

- ・「障害者権利条約の概要と今後の課題～障害者権利条約を日常支援にどう繋げていくか～」：

平成 21 年 1 月 22 日（木）

講師：藤井克徳氏（日本障害フォーラム幹事会議長）

## ○スポーツ・レクリエーション等

- ・第 42 回大阪知的障害児・者合同ソフトボール大会：平成 20 年 6 月 5 日

久宝寺緑地陸上競技場

参加者数：27 チーム 495 名

- ・第 27 回スポーツフェスタ 2008 大阪：平成 20 年 10 月 18 日～19 日

大阪市長居公園運動場等で 9 競技開催

## ○共催事業

- ・「知事に届けよう！ 障害者や家族の思い・ネットワーク」

「大阪府財政再建プログラム」の障害者施策に関する緊急要望：平成 20 年 5 月 13 日

参加者数：19 団体 3,000 名

- ・「国連・障害者権利条約の批准をもとめて～地域フォーラム in おおさか～」：平成 20 年 11 月 5 日

- ・世話人向け料理教室：平成 20 年 11 月 22 日

## ○その他活動

- ・北摂施設長会開催：平成 21 年 3 月 12 日

内容：中央情勢報告（自立支援法見直しに関する最新情報等）

各施設・事業所の取り組みや課題についての情報交換

- 大阪知的障害者福祉協会広報誌『大阪知的障害者福祉協会 NEWS』の発行 130 号～131 号

## ○後援事業等

- 第15回マインドエアロビクス
- 第49回大阪手をつなぐ育成会大会（守口・門真大会）
- 社会福祉法人北摂杉の子会10周年記念講演会
- サポート研関西セミナー
- 大阪手をつなぐ育成会新成人を祝う集い
- 第19回春をよぶみんなのコンサート
- 第11回ジェントルティーチング公開ワークショップ

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第31回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成20年12月10～11日  
テーマ「真の自立支援制度の構築を目指して」  
講演「真の自立支援とは何か」  
講師：岡田喜篤氏（川崎医療福祉大学学長）
- 第45回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成21年2月18日～19日  
テーマ「今施設職員に求められる専門性～利用者本人の支援とは～」  
講演「日本知的障害者福祉協会の活動等について」  
講師：小坂孫次氏（日本知的障害者福祉協会会長）  
講演「家族支援の実践的視点を身につける」  
講師：団士郎氏（立命館大学大学院応用人間科学研究科教授）

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国知的障害者関係施設長会議：平成20年5月27日～28日  
テーマ「障害者自立支援法の抜本的な見直し～知的障害のある人たちのいのちとくらしを守る～」  
国政報告：木村義雄氏（自由民主党障害者福祉委員長）  
講演「犯罪性精神障害者等の福祉をめぐる問題」  
講師：河上和雄氏（弁護士、日本テレビ客員解説員）
- 全国地方会長会議：平成20年9月9日
- 障害者自立支援法の抜本的見直しをさらに求める緊急集会：平成20年11月19日
- 全国会長・事務局長会議：平成20年11月25日～26日
- 全国部会・分科会協議会：平成21年3月9日～10日

## 法制度 ・ 世相

「介護従事者等の人材確保のための介護従事者等の処遇改善に関する法律」制定  
\*リーマンショックによる金融危機



# 平成 21 (2009) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 186 施設  
賛助会員 7 名

- 総会 平成 21 年 5 月 13 日
- 平成 22 年 1 月 20 日法人登記 一般社団法人大阪知的障害者福祉協会成立  
平成 21 年 8 月 26 日第 2 回評議員会にて、一般社団法人化承認  
平成 22 年 1 月 22 日第 3 回評議員会にて、一般社団法人格取得報告
- 研修関係等
  - ・「企業経営者の経験から社会福祉法人経営を考える～北摂杉の子会の経営を通して～」：  
平成 21 年 5 月 13 日  
講師：中村節史氏（社会福祉法人北摂杉の子会理事長、元積水化学工業株式会社常務取締役）
  - ・「施設における人権擁護の取組み～京都府における利用者の身体拘束防止に向けた取組みを通して～」：  
平成 21 年 8 月 26 日  
講師：樋口幸雄氏（社会福祉法人京都ライフサポート協会理事長）
  - ・「第三者評価事業について」：  
平成 22 年 1 月 22 日  
講師：叶井泰幸氏（大阪府社会福祉協議会福祉サービス第三者評価センター副所長）
- スポーツ・レクリエーション等
  - ・第 43 回大阪知的障害児・者合同ソフトボール大会（新型インフルエンザの全国的感染拡大のため中止）
  - ・第 28 回スポーツフェスタ 2009 大阪：平成 21 年 10 月 17 日～18 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場等で 9 競技開催
- 共催・協力事業
  - ・大阪障害フォーラム（ODF）  
結成集会：平成 21 年 9 月 15 日  
第 1 回団体連絡会：平成 21 年 12 月 11 日  
第 1 回学習会：平成 22 年 1 月 29 日
  - ・「知的障害のある人の自己決定に関する調査」協力  
研究者：与那嶺司氏（大阪人間科学大学社会福祉学科准教授）
  - ・世話人向け料理教室：平成 21 年 11 月 14 日
- その他活動
  - ・施設訪問コンサルテーション事業の実施：5 施設（大阪知的障害児者生活サポート協会助成事業）
  - ・虐待防止委員会の立ち上げ 委員会の開催（2 回）
  - ・日本知的障害者福祉協会執行部への要請について（意見表明）
- 大阪知的障害者福祉協会広報誌『大阪知的障害者福祉協会 NEWS』の発行 132 号～133 号
- 後援事業等
  - ・第 16 回マインドエアロビクス
  - ・第 50 回大阪知的障がい者福祉大会
  - ・大阪手をつなぐ育成会新成人を祝う集い
  - ・第 20 回春をよぶみんなのコンサート
  - ・第 15 回障害児性教育セミナー in 堺
  - ・第 12 回ジェントルティーチング公開ワークショップ

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第 32 回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成 21 年 12 月 10～11 日  
テーマ「ライフサイクルに沿った支援のありかた（話して・聴いて・考えて・そして行動）」  
中央情勢報告：河原雄一氏（日本知的障害者福祉協会政策委員会副委員長）  
対談「働き・暮らし・楽しむ」  
語り手：溝口弘氏（NPO ワイワイあほしクラブ理事長） 聞き手：片岡卓示氏（滋賀県立近江学園施設長）  
シンポジウム「ライフサイクルに沿った支援の課題と展望」  
シンポジスト：渋谷千鶴氏（社会福祉法人平安養育院施設長）、  
樋口幸雄氏（社会福祉法人京都ライフサポート協会理事長）、  
滝井康雄氏（社会福祉法人しがらき会地域支援部部長）  
座長：蓬萊和裕氏（社会福祉法人ゆたか会希望の郷施設長）  
オブザーバー：溝口弘氏（株式会社なんてん共働サービス取締役社長）
- 第 46 回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成 22 年 2 月 4 日～5 日  
テーマ「障害者権利条約を基盤とした今後の支援のあり方を考える」  
講演「政権交代と今後の障害保健福祉施策の動向」  
講師：光増昌久氏（日本知的障害者福祉協会政策委員）  
講演「障害者権利条約の意義と今後の批准に向けた取り組み」 講師：藤井克徳氏（日本障害者協議会）

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国知的障害者関係施設長会議：平成 21 年 5 月 25 日～26 日
- 全国地方会長会議：平成 21 年 8 月 17 日、9 月 16 日
- 全国会長・事務局長会議：平成 21 年 10 月 29 日～30 日
- 全国部会・分科会協議会：平成 22 年 3 月 8 日～9 日



## みなさんからの応援メッセージ

### べき論世代のうわごと

社会福祉法人障友会 吉川 喜章

半世紀もの長い歳月を経て、大阪知的障害者福祉協会は著しい変貌をとげています。加盟施設の増加と共に顕著なそれは、組織の圧倒的な民立施設化です。国策による社会福祉実施主体の公から民への大転換の結果です。当協会は、もはや民の施設の結集体と云って過言ではありません。ならば、民としての役割——社会的開拓性（ある種のソーシャルアクション）の強化は今後の協会の重要ミッションのひとつです。

「誰に遠慮がいるものか！」

# 平成 22 (2010) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 189 施設  
賛助会員 7 名

○総会 平成 22 年 6 月 18 日

○理事会 第 1 回理事会：平成 22 年 4 月 16 日

第 2 回理事会：平成 23 年 3 月 18 日

## ○研修関係等

- ・「自閉症の人たちに対するコミュニケーション支援」：平成 22 年 6 月 18 日  
講師：水野敦之氏（社会福祉法人つつじ発達障害児市町支援体制推進事業ディレクター）
- ・パネルディスカッション「頻発する施設内虐待～虐待防止の仕組みを考える」：平成 22 年 9 月 3 日  
コーディネーター：黒田隆之氏（桃山学院大学社会福祉実習指導室室長）  
パネリスト：児玉理恵子氏（大阪府障がい福祉室生活基盤課主査） 他
- ・「知的障がいのある人の自己決定～そのとらえ方と支援のありよう～」：平成 23 年 2 月 10 日  
講師：與那嶺司氏（大阪人間科学大学准教授）
- ・「新会計基準移行の背景と基本的考えについて」「新会計基準における改正点について」：  
平成 23 年 3 月 8 日  
講師：栗谷和昭氏（税理士、栗谷会計事務所所長）

## ○スポーツ・レクリエーション等

- ・第 44 回大阪知的障がい児・者合同ソフトボール大会：平成 22 年 6 月 3 日  
久宝寺緑地競技場 参加チーム数：18 チーム
- ・第 29 回スポーツフェスタ 2010 大阪：平成 22 年 10 月 16 日～17 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場等で 9 競技開催

## ○共催・協力事業

- ・大阪障害フォーラム第 2 回公開学習会：平成 22 年 7 月 23 日
- ・大阪障害フォーラム第 2 回団体連絡会議：平成 22 年 7 月 27 日
- ・「障がい者の働くパワーアップフォーラム」：平成 22 年 9 月 17 日
- ・厚生労働省からの協力依頼によるグループホーム等の開設に際しての困難事例アンケートの実施
- ・世話人向け料理教室：平成 22 年 11 月 27 日

## ○その他活動

- ・施設訪問コンサルテーション事業の実施（大阪知的障害児者生活サポート協会助成事業）5 施設
- ・『障がいのある人の尊厳を守る虐待防止マニュアル』2,000 部発行（大阪知的障害児者生活サポート協会助成事業）
- ・「虐待防止マニュアルに関わるアンケート」調査（大阪知的障害者福祉協会全加盟施設に送付、回答数 104 施設）
- ・「障がい者虐待あるいは不適切な対応に関する実態調査」の実施（平成 22 年 6～7 月）
- ・「知的障がい児入所施設に関する実態調査」の実施
- ・東日本大震災による被害施設等に対する義援金募集
- ・東日本大震災による被害施設等に対する支援物資提供依頼

○大阪知的障害者福祉協会広報誌『大阪知的障害者福祉協会 NEWS』の発行 134 号

## ○後援事業等

- 第17回マインドエアロビクス
- 水仙福祉会アイ・サポート研究所発達講座
- 第49回近畿知的障害者福祉大会（併催第10回大阪市知的障害者育成会大会）
- 第51回大阪知的障がい者福祉大会
- 障害児・者せいかつをゆたかに性教育セミナー
- サポート研関西セミナー「本人中心の支援と家族」
- 第14回国際社会福祉・文化交流事業「心と心のふれあいコンサート」
- 大阪手をつなぐ育成会新成人を祝う集い
- 第21回春をよぶみんなのコンサート

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第33回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成22年12月15～16日  
テーマ「制度改革の行方～新事業体系全面移行を控え、今後の制度のあり方について考える～」  
中央情勢報告：中原強氏（日本知的障害者福祉協会会長）  
講演「今こそ障がい福祉を考え直そう」  
講師：岡田喜篤氏（川崎医療福祉大学学長）  
シンポジウム「望まれる障害者福祉制度とは」  
シンポジスト：岡田喜篤氏（川崎医療福祉大学学長）、小坂孫次氏（恵那たんぼ福祉会理事長）
- 第47回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成23年2月24日～25日  
テーマ「安心、安全に生活できる支援のあり方を考える」  
講演「知的障がいのある方を支援するための行動規範について」  
講師：重利政志氏（日本知的障害者福祉協会人権倫理委員会委員長、岡山県デイサービスセンターすまいる）  
講演「障害をもつ人たちの発達保障と権利擁護について」  
講師：藤本文朗氏（滋賀大学名誉教授）

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国通勤寮職員研修大会：平成22年6月19日～20日
- 全国知的障害者関係施設長会議：平成22年7月5日～6日
- 第26回全国日中活動支援部会職員研修会大阪大会：平成22年12月2日～3日  
テーマ「今、改革のとき、支援者に求められる能力・資質は？～利用者の主体的選択、自己決定をどのように支援するのか～」
- 全国会長・事務局長会議：平成22年10月28日～29日
- 全国部会・分科会協議会：平成23年3月1日～2日

## 法制度 ・ 世相

「障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律」（つなぎ法案）制定（利用者負担の見直し、障害者の範囲の見直し、相談支援の充実、障害児支援の強化等）

\*東日本大震災

# 平成23(2011)年度

● 会員数 ●  
施設会員 191 施設  
賛助会員 6 名

- 総会 平成23年6月23日
- 理事会 平成23年5月20日
- 研修関係等
  - ・「福祉施設、グループホーム、ケアホーム等の防災対策について」：平成23年6月23日  
講師：大西一嘉氏（神戸大学大学院工学研究科建築学専攻准教授）
  - ・「最新情報～障がい者総合福祉法と制定までの制度的対策～」：平成23年9月30日  
講師：最上太一郎氏（日本知的障害者福祉協会政策委員長）
  - ・大阪府社会福祉協議会児童施設部会との合同研修会：平成23年11月30日  
「児童入所施設における適切な支援」 講師：中山清司氏（NPO 法人自閉症 e サービス理事長）
  - ・「自閉症児の養育支援について」：平成23年12月6日  
講師：ヨ・ムンファン氏（韓国認知科学研究所長）
  - ・「障がい児者の権利擁護と対人援助について」：平成24年2月22日  
講師：松端克文氏（桃山学院大学社会学部社会福祉学科教授）
- スポーツ・レクリエーション等
  - ・第45回大阪知的障がい児・者合同ソフトボール大会：平成23年6月2日  
久宝寺緑地競技場 参加チーム数：18チーム
  - ・第30回スポーツフェスタ2011大阪：平成23年10月29日～30日  
大阪市長居第2陸上競技場（長居スタジアム）等で9競技実施
- 共催・協力事業
  - ・知的障がい児施設等における虐待防止に向けた適切な支援推進会議に委員派遣
  - ・世話人向け料理教室
- その他活動
  - ・施設訪問コンサルティング事業の実施（大阪知的障害児者生活サポート協会助成事業）
  - ・東日本大震災による被害施設等に対する義援金募集  
義援金額：4,567,069円 協力事業所数：64事業所と個人2名
  - ・東日本大震災による被害施設等に対する支援物資提供依頼
  - ・台風12号災害による被害施設等に対する義援金募集  
義援金額：633,364円 協力事業所数：23団体と個人1名
- 大阪知的障害者福祉協会機関紙『大阪知的障害者福祉協会 NEWS』の発行
  - ・135号～136号（本年度からリニューアル）
- 後援事業等
  - ・第18回マインドエアロビクス
  - ・水仙福祉会アイ・サポート研究所発達講座
  - ・第52回大阪知的障がい者福祉大会（和泉大会）
  - ・第13回ジェントルティーチング公開ワークショップ
  - ・第15回国際社会福祉・文化交流事業「心と心のふれあいコンサート」
  - ・大阪手をつなぐ育成会新成人を祝う集い
  - ・第22回春をよぶみんなのコンサート

### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第34回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成23年11月21日～22日  
テーマ「共に歩む～時代と共に歩む障害者福祉の使命と機能を再確認しよう～」  
中央情勢報告：光増昌久氏（日本知的障害者福祉協会政策委員会委員、障がい者制度改革推進会議総合福祉部会構成員、社会福祉法人札幌緑花会松泉学院施設長）  
講演「権利擁護の理解」 講師：鈴木敏彦氏（和泉短期大学児童福祉学科准教授）
- 第48回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成24年2月16日～17日  
テーマ「福祉業界への多様な経営主体参入の中で我々の福祉支援が果たすべき役割」  
講演「障害者虐待防止法について」 講師：田中幹夫氏（弁護士、田中幹夫法律事務所）  
講演「災害時における支援体制について」  
講師：松岡静久氏（岩手県・地域生活支援センターしおんセンター、日本知的障害者福祉協会相談支援事業等分科会座長）

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 平成22年度日中活動支援部会職員研修会（大阪大会）報告書作成・送付
- 全国会長・事務局長会議：平成23年10月27日～28日
- 全国部会・分科会協議会：平成24年3月8日～9日

### 法制度 ・ 世相

「障害者虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」（障害者虐待防止法）制定  
「障害者基本法の一部を改正する法律」制定（地域社会における共生、障害を理由とする差別の禁止等）



## みなさんからの応援メッセージ

### 現場力を高める～更なる利用者中心の支援を目指して～

社会福祉法人北摂杉の子会 松上 利男

協会設立から50年の歩みの中で大きな制度的変遷がありました。私たちの揺るぎないコアバリュー（Core Value）は、「利用者中心の支援」即ち「利用者のニーズベースの支援」であったと思います。このコアバリューを確たるものにするためには、利用者を支援する現場力を高めていくことに尽きます。今後もこの私たちのコアバリューに基づく実践の積み上げを通して、現場力を高める活動を進めていきたいと思っています。

# 平成 24 (2012) 年度

● 会員数 ●  
施設会員 192 施設  
賛助会員 6 名

- 総会 平成 24 年 6 月 22 日
- 理事会 平成 24 年 5 月 18 日 (金)
- 研修関係等
  - 研修会：平成 24 年 6 月 22 日  
「サービス推進員派遣事業の経過について」  
講師：児玉理恵子氏 (大阪府障がい福祉室地域生活支援課)  
「障害者虐待防止法について」 講師：辻川圭乃氏 (弁護士)
  - 「福祉現場における支援記録の書き方」：平成 24 年 10 月 15 日  
講師：松端克文氏 (桃山学院大学社会学部社会福祉学科教授)
  - 研修会：平成 25 年 1 月 25 日  
パネルディスカッション「施設訪問コンサルテーション事業を利用して」  
講義「自閉症の人たちの地域生活支援～より良き支援者を目指して～」  
講師：中山清司氏 (NPO 法人自閉症 e サービス理事長)
- スポーツ・レクリエーション等
  - 第 46 回大阪知的障がい児・者合同ソフトボール大会：平成 24 年 6 月 1 日  
久宝寺緑地競技場  
参加チーム数：19 チーム
  - 第 31 回スポーツフェスタ 2012 大阪：平成 24 年 10 月 27 日～28 日  
大阪市長居第 2 陸上競技場 (長居スタジアム) 等で 10 競技実施
- 共催・協力事業
  - 大阪府障がい者自立支援協議会に委員派遣
  - 障がい者虐待防止推進部障がい児者虐待防止支援専門委員会に委員派遣
  - 大阪知的障がい者スポーツ協会に委員派遣
- その他の活動
  - 施設訪問コンサルテーション事業報告書発行に伴う座談会  
内容：実施事業所担当者による座談会
  - 『支援のありようで利用者が変わる～施設訪問コンサルテーション事例集～』発行  
：平成 25 年 3 月 1 日発行 (大阪知的障害児者生活サポート協会助成事業)
  - 大阪知的障害者福祉協会設立 50 周年記念誌発行実行委員会設置
- 大阪知的障害者福祉協会機関紙『トライアングル』の発行 137 号～139 号 (紙名変更)
- 後援事業等
  - 第 19 回マインドエアロビクス
  - 第 53 回大阪知的障がい者福祉大会 (藤井寺大会)
  - 水仙福祉会アイ・サポート研究所主催発達講座
  - 第 14 回ジェントルティーチング公開ワークショップ
  - 大阪手をつなぐ育成会新成人と還暦を祝う集い
  - 第 23 回春をよぶみんなのコンサート



### 近畿地区知的障害者施設協会関連

- 第35回近畿地区知的障害関係施設長会議：平成24年11月21日～22日  
テーマ「障害者虐待を考える～障害者虐待防止法から見る現状と課題～」  
中央情報報告：日本知的障害者福祉協会政策委員会委員  
講演：「施設におけるリスクを法的視点からみる」 講師：池田佳史氏（弁護士、弁護士法人「栄光」代表社員）  
講演「「かりいほ」の経営理念とその取り組みについて」 講師：石川恒氏（「かりいほ」施設長）  
講演「知的障害者施設においてなぜ虐待が起こるのか」 講師：松端克文氏（桃山学院大学社会学部教授）
- 第49回近畿地区知的障害関係施設職員研修会：平成25年2月14日～15日  
テーマ「新たな時代は新たな専門職を必要とする。社会の相互理解と共生社会の実現に向け、共に考え共に歩み出す新たな一歩を前進させよう」  
基調講演「障害者虐待防止法とは何か～改めて本質的な支援を考える～」  
講師：高山直樹氏（東洋大学社会学部社会福祉学科教授）

### 日本知的障害者福祉協会関連

- 全国会長・事務局長会議：平成24年10月31日～11月1日
- 全国部会・協議会：平成25年3月6日～7日
- 知的障がいの高齢者（60歳以上）についてのヒヤリング（第2三恵園、箕面育成園）

### 法制度 世相

「障害者自立支援法」を改称し、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」  
制定 平成26（2014）年4月施行

「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」（障害者優先調達法）  
制定 平成25（2013）年4月施行

「社会保障制度改革推進法」制定（社会保障制度改革国民会議を設置し、制度改革を総合的かつ集中的に推進）



## みなさんからの応援メッセージ

### 障がい者補償制度から生活サポート協会へ

ジェイアイシーウエスト株式会社 代表取締役 榎 皇雄

大阪知的障害者福祉協会 50周年おめでとうございます。

知的に障がいのある方々の補償制度が、福祉協会様にご推薦をいただいてから約25年になります。その後、おおさか福祉互助会を経て、現在の大阪知的障害児者生活サポート協会の補償制度へと進化して参りました。今後も貴大阪福祉協会と共に障がいのある方々の「日常生活の安心」に寄与し続けたいと思います。

益々のご発展を祈念いたします。



# みなさんからの応援メッセージ

## 僕は走ることが大好きです

多機能型事業所あすなろ 金 一信

中学生までは走ることが苦手だったけれど、高校2年生の時に学校のマラソン大会に出て2位になったことがうれしかったです。それから陸上を始めました。高校3年生の時に初めて「スポーツフェスタ」に出て、大きくてきれいなトラックを走ってとても気持ちよくて楽しかったです。

高校を卒業した時に、先生が陸上クラブに入れてくれました。月2回日曜日の午前中や火曜日と金曜日には夜間練習もあります。頑張っています。種目は陸上競技800m、1500mで、家にはメダルがいっぱいあります。表彰台がうれしかったです。みんなと走るのが楽しいです。僕は走ることが大好きで、毎日多機能型事業所あすなろに行くときに駅まで走っています。

(母より)

毎年出場しているスポーツフェスタは、お祭りのような大会でとても楽しく、出場競技以外の競技にチャレンジすることもでき、本人の新しい発見があり可能性を引き出せる大会です。今後も参加していきたいです。

## 楽しかった愛護ソフトボール大会

大阪府立砂川厚生福祉センターつばさ寮 H.R.

今年(平成24年)6月1日に久宝寺で行われた愛護ソフトボール大会では、グループBでの参加になりました。砂川厚生福祉センターつばさで参加された利用者の皆さんは一生懸命頑張ってくれました。ソフトボール大会の練習にはちゃんと参加をし、チームワークが乱れる事なく優勝ができました。

上手い人、よく打つ人、下手な人、それぞれいます。初めて砂川厚生福祉センターでキャプテン代表をさせてもらいました。日々練習することによって、下手な人でも上達して、少しずつでも上手くなろうと努力している姿が良く分かりました。

上手い人が集まって勝利するより、色んな人と楽しい笑顔でプレーしている姿の方が僕は好きですね。優勝できたのは、参加された利用者が協力し合って、どんな下手な人でも一生懸命プレーをし、もぎとった勝利だと思います。本当におつかれ様でした。

## ソフトボール大会の思い出

第2三恵園からグループホーム移行  
中東 澄夫

僕が参加した福祉協会のソフトボール大会は、もう20年ほど前になります。

施設から参加することになり、近くの学校に早朝や日曜に練習に行き、大会当日グラウンドへ行くと多くの選手が集まっていて、とても暑い一日でした。

それでも汗を流してボールを追いかけたあと、帰りにファミリーレストランで夕食を摂りました。

施設で汗を流した若き日の思い出です。

## すぽ一つふえすたにさんかして

障がい者支援施設高井田苑  
利用者

かぞくのいてるまえで、大だまころがしをすごくきんちょうもしながら大だまころがしをふたりでして本当にうれしかったです。大だまころがしを2かいました。

かぞくとおべんとうをいっしょにたべました。めだるをもらえてうれしかったです。

やまざきだいさんと行けてすごくうれしくおもいました。